

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	39 生物の生息状況の把握
取組	生物の生息状況の把握		
取組概要	地域における生物多様性保全を推進するために、保全する生物を中心とした生物等の調査を行うこと。地域に生息・生育する生物、又は保全する生物の分布図を、地域情報が把握できる地形図を活用して作成すること。		
ふりがな 組織名	まきたゆうすいのさと 牧田湧水の郷	ふりがな 実施場所	いみずしくした(まきたちいき) 射水市串田(牧田地域)
活動内容	<p>地域内を流れる鮒釣り川(用・排水路も兼ねている)で小学生をはじめ地域住民と合同でどのような生き物が生息しているか調査を実施し、大人から子供まで地域ぐるみの環境保全活動を目指している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>※ヨシノボリ 2種類程で多数いた</p>  </div> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p>※川藻類 砂利の川底になったので藻類は少なかった。しかし、バイカモが所々に繁茂していた。カナガモ、ヤナギモは少なくなった。</p>  <p>ミクリ カナダモ ヤナギモ バйкаモ</p> </div> </div>		
背景・経緯	<p>この生態調査は、子供たちと地域の人との交流の場にもなっている。地域の人にとっては、子供たちを知る機会でもある。子供たちにとっても用排水路にすむ生物と接触する貴重な体験となっている。合わせて用排水路での危険性、安全性にも配慮する。</p>		
時期・回数	毎年1回(7月)		
参加者	活動組織の農業者、児童クラブ(小学生6人)、地域住民		
配慮事項	<p>当日、参加者の自己紹介をして子供たちと住民の顔合わせをして、参加者の様子を知り、実施内容の理解と用排水路の中での安全な行動に十分注意する。困った時はすぐ周りの人に声をかけるなどしながら、また保護者には土手より用排水路の中の様子を常に注視してもらいながら実施した。</p> <p>子供たちが捕まえた生き物は終わりに何であるかを調べてから用排水路に戻すなど生態系に配慮している。</p>		

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	39 生物の生息状況の把握
取組	生物の生息状況の把握		
取組概要	地域における生物多様性保全を推進するために、保全する生物を中心とした生物等の調査を行うこと。地域に生息・生育する生物、又は保全する生物の分布図を、地域情報が把握できる地形図を活用して作成すること。		
ふりがな 組織名	ななくちかんきょうほぜんかい 七口環境保全会	ふりがな 実施場所	なめりかわしななくち 滑川市七口
活動内容	<p>七口公民館に隣接する、児童公園付近の用水支流で、小学生をはじめ地域住民と合同で、どのような生き物が生息しているか把握して、大人から児童まで町内ぐるみの環境保全活動を実施する。</p> 		
背景・経緯	<p>七口町内は、農家・非農家の混在化が進んでおり、農家であっても世代が代われれば非農家になっていく世帯もあるのが現状である。世代を問わず大人から子ども達まで、ふれあえる機会は、町内花見会や町内夏祭りである。今回は、町内夏祭りに合わせ夏祭り開始前に、町内児童クラブの協力を得て用水支流に生息する、カワニナ・アメンボと触れ合う貴重な体験をしてもらった。</p>		
時期・回数	毎年1回(8月)		
参加者	活動組織の農業者(2人)・非農業者(6人)・児童(9名)		
配慮事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>留意点 → 生息調査するにあたり調査場所は、安全で転落の恐れのない所とした。</li> <li>必要品 → タモ6個・虫籠6個 容器等。</li> <li>呼びかけ方法 → 発行文書にて児童クラブへ協力依頼をした。</li> </ol>		